

時代の変化に応じた公共施設の将来像を、

みんなで考えてみませんか？

《負担を先送りせず、より良い資産を次世代に引き継ぐために》

■基調講演

基調講演 「酒々井町を持続的に発展させるための公共施設の在り方」

東洋大学大学院経済学研究科教授 根本 祐二 氏

■パネルディスカッション

「公共施設の今後のあり方を考える」

コーディネーター 東洋大学大学院経済学研究科教授 根本 祐二 氏

パネリスト 千葉工業大学創造工学部教授 倉斗 綾子 氏

習志野市情報政策課長（前資産管理課長） 早川 誠貴 氏

佐倉市資産経営課副主幹 橋本 直子 氏

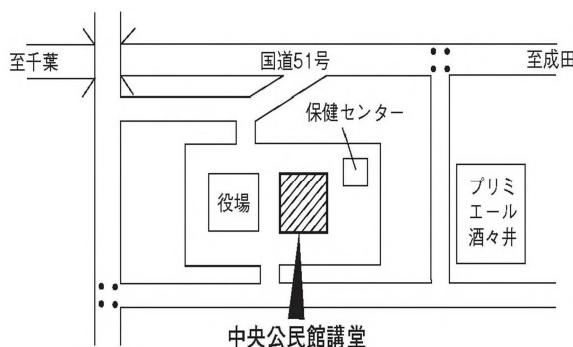
酒々井町企画財政課主幹 吉川 清志

日時 令和5年7月2日（日）

13:30 ~ 16:00 開場 13:00

会場 中央公民館講堂

酒々井町中央台4-10-1  
☎ 043-496-5321



定員 100人 申込先着順

参加無料：事前申込が必要です。

- ・詳しくは裏面をご覧ください。
- ・定員になり次第締め切ります。
- ・空席がある場合のみ当日参加を受けます。

【注意事項】

- ◎新型コロナウイルス感染症の状況等により、やむを得ず中止・延期となる場合があります。
- ◎体調不良の場合は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。



■主催：酒々井町

■お問い合わせ・参加申込み：企画財政課 施設総合管理室  
〒285-8510 酒々井町中央台4-11  
TEL：043（496）1171（内線）228～230  
FAX：043（496）4541



QRコード  
からホーム  
ページへ!

## ■ 開催趣旨

酒々井町では学校や保育園・公民館などの公共施設の老朽化が進み、その維持管理や改修・改築には多額の費用が必要です。一方、人口減少による税収の落ち込みや少子高齢化に伴う社会保障経費などの増加により、老朽化対策に必要な財源を確保することは非常に困難な状況です。

公共施設の老朽化問題は酒々井町だけでなく全国的な課題となっていますが、酒々井町でもこの問題に適切に対応するための取り組みを進めています。

公共施設の利用者は町民の皆さんであり、老朽化対策の費用には町民の皆さんの税金が使われています。公共施設を取り巻く状況や先進自治体の取り組みなどを紹介し、時代の変化に応じた公共施設の将来像をみんなで考える機会として今回のシンポジウムを開催することとしました。

## ■ シンポジウム次第（予定）

13:30 開会

13:35～14:35 ≪基調講演≫ 「酒々井町を持続的に発展させるための公共施設の在り方」  
東洋大学大学院経済学研究科教授 根本 祐二 氏

14:45～15:55 ≪パネルディスカッション≫ 「公共施設の今後のあり方を考える」

コーディネーター 東洋大学大学院経済学研究科教授 根本 祐二 氏  
パネリスト 千葉工業大学創造工学部教授 倉斗 綾子 氏  
習志野市情報政策課長（前資産管理課長） 早川 誠貴 氏  
佐倉市資産経営課副主幹 橋本 直子 氏  
酒々井町企画財政課主幹 吉川 清志

16:00 閉会

## ■ 基調講演講師 根本 祐二 氏



東洋大学大学院経済学研究科教授、東洋大学 PPP 研究センター長。

1978年東京大学経済学部卒業、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。

地域開発部、米国ブルッキングス研究所客員研究員、設備投資研究所主任研究員、地域企画部長などを経て、2006年東洋大学経済学部教授に就任。

専門は、公民連携、地域再生。内閣府、国土交通省、東京都、横浜市などで公職多数。

著書に、『朽ちるインフラ』（日本経済新聞社）、『公民連携白書』（共著、時事通信社）、『地域再生に金融を活かす』（学芸出版社）などがある。

### ● 参加申込方法

下記申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX、郵送で酒々井町企画財政課施設総管理室までお送りください。お電話での申し込みも可能です。

右のQRコードよりホームページに移行し、参加申込フォームからも可能です。



公共施設の今後のあり方を考えるシンポジウム 参加申込書				酒々井町企画財政課施設総管理室 行 FAX : 043-496-4541	
代表者氏名		人数		TEL	
代表者住所				FAX	
				E-mail	

※ 上記個人情報本シンポジウム以外の目的では使用しません。